

## Nordic Market Biweekly Report

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

情報提供資料

2015年8月26日

## ★為替・金利の動向

対円レート推移  
(2015年8月7日～2015年8月21日) ※単位は円

|             | 8月7日   | 8月14日  | 8月21日  | 騰落率   |
|-------------|--------|--------|--------|-------|
| ノルウェー・クローネ  | 15.08  | 15.16  | 15.00  | -0.5% |
| スウェーデン・クローナ | 14.27  | 14.69  | 14.50  | 1.6%  |
| デンマーク・クローネ  | 18.27  | 18.59  | 18.59  | 1.8%  |
| ユーロ(フィンランド) | 136.33 | 138.81 | 138.78 | 1.8%  |

為替は三菱東京UFJ銀行発表の日本時間午前10時仲値を参照

ノルウェー・クローネは、原油価格が一段と低迷する中、対円で下落しました。一方でスウェーデン・クローナ、デンマーク・クローネ、ユーロは対円で上昇しました。スウェーデンでは、7月の消費者物価指数(対前年同月比)が市場の予想を上回ったことから、政策金利も据置かれるとの見方が市場で強まり、スウェーデン・クローナは堅調に推移しました。

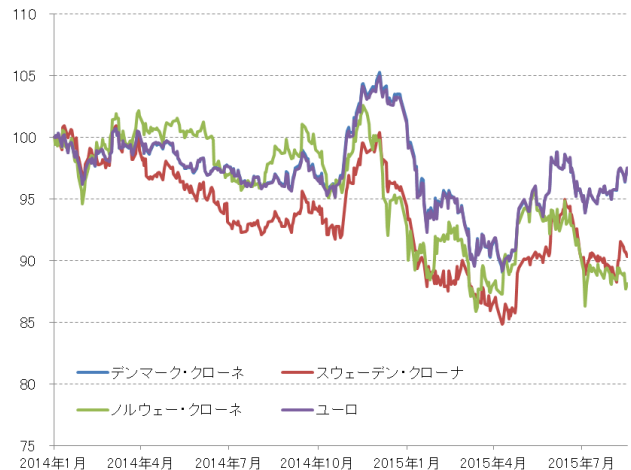
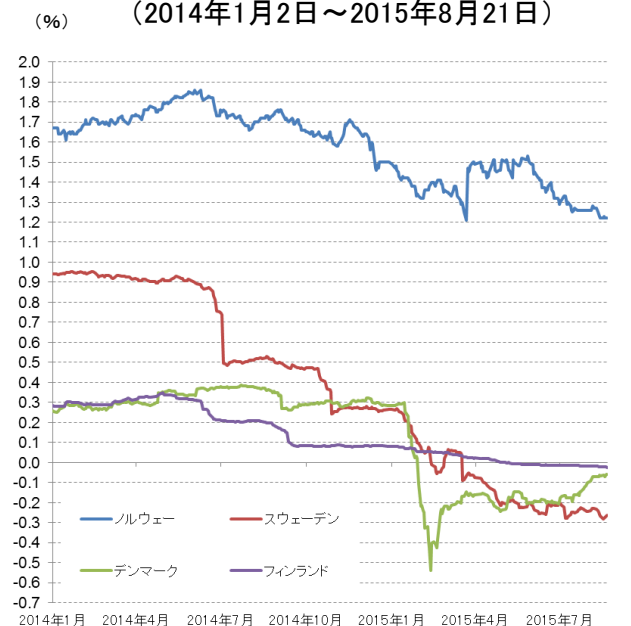
出所:ブルームバーグデータをもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

銀行間取引金利3ヵ月物推移  
(2015年8月7日～2015年8月21日) ※単位は%

|              | 8月7日   | 8月14日  | 8月21日  | 期間中<br>変動幅 |
|--------------|--------|--------|--------|------------|
| ノルウェー        | 1.220  | 1.220  | 1.190  | -0.030     |
| スウェーデン       | -0.247 | -0.274 | -0.274 | -0.027     |
| デンマーク        | -0.073 | -0.068 | -0.060 | 0.013      |
| ユーロ圏(フィンランド) | -0.024 | -0.025 | -0.031 | -0.007     |

北欧4か国の銀行間取引金利は小幅な変動に留まりました。ノルウェーでは、原油相場が再び急落したことを背景に、銀行間取引金利は小幅に低下しました。デンマークでは、6月の消費者物価指数が大きな混乱要因とならず、中央銀行のターゲットに近づきつつあるとの見方が広がったことが市場参加者の安心感に繋がり、銀行間取引金利は小幅上昇しました。スウェーデンでは、7月の消費者物価指数(対前年同月比)が市場の予想を上回ったことから、政策金利も据置かれるとの市場の見方が強まり、銀行間取引金利は小幅下落しました。

出所:ブルームバーグデータをもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

対円レート推移  
(2014年1月6日～2015年8月21日)  
※2014年1月6日を100として指数化銀行間取引金利3ヵ月物推移  
(2014年1月2日～2015年8月21日)

## 【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2015年8月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

## ☆北欧ニュース

### <ノルウェー：ASEANとパートナーシップ締結へ>

ノルウェーは、8月7日、東南アジア諸国連合(ASEAN)より、正式なパートナーシップ締結の要請を受けました。ASEANは、加盟国10カ国、域内の総人口約6億2,000万人を有する地域協力機構ですが、締結された場合、西欧諸国としては初めて正式なパートナーシップを締結する国となります。ブレンデ外相はマレーシアにて開催されたASEAN外相会議にゲストとして出席しました。ノルウェーにとってASEANは第4位の貿易相手先(2014年)であり、国外で展開するノルウェー企業が最も多い地域です。ASEANは、米国、ロシア、中国を含む10カ国だけでなく、欧州連合(EU)など複数の機構ともすでに対話関係を築いています。

### <デンマーク：高騰する住宅価格>

デンマークでは、今年の2月から中央銀行が実施しているマイナス金利政策を背景に、住宅ローン金利が記録的な低水準になったことから、デンマークの首都コペンハーゲンでは、住宅価格が2008年の住宅価格バブル以上の値を付けています。住宅ローン国内最大手のNykredit A/S 銀行の調査によると、コペンハーゲン市内では住宅価格が2014年に8%上昇し、2015年12月末までには更に11%上昇すると予想しています。しかしながら、同調査では2016年以降はある程度落ち着きを取り戻すと予想しており、2016年の住宅価格の上昇率は前年比+9%、2017年の上昇率は+6%を見込んでいます。

### <スウェーデン：ボルボ、2015年上半期の収益は増加>

中国の浙江吉利控股集团(ジーリー・ホールディング)傘下にあるスウェーデンの自動車メーカー、ボルボは、2015年上半期、同社にとって最大の市場である中国における販売は2014年下半期と比べ低下したものの、米ドル高とSUV車の販売が好調だったことを背景に、営業利益は前期比71%増の16億スウェーデン・クローナとなりました。中国経済の減速が顕著になっていますが、ボルボは中国市場でのプレゼンスを高めるため、浙江吉利控股集团との間で3社の合弁会社を設立・運営しています。

### <フィンランド：移民政策に方針転換必要か>

国内景気の低迷や、西側諸国の経済制裁によるロシア経済の低迷に伴う輸出額の減少などを背景に、2015年2月以降、フィンランドの失業率は10%を超えています。但し、フィンランド統計局の調査によれば、この失業率の内、およそ8割は労働人口の高齢化や、雇用機会と労働者のスキルの不一致に起因しているとのこと。政府は、定年退職年齢の引き上げや、失業保険の給付の減額等を実施し、失業率の低下に努めています。ノルディア銀行の調査によれば、毎年1万人ほどが定年退職しており、労働人口の空洞化は避けられない方向に向かっていると警鐘しています。フィンランドの連立政権は、自国の労働者を移民労働者より優遇する措置を取っていますが、ノルディア銀行は、国内の雇用機会を充足するスキルを持つ移民に対しては入国を許可する政策が必要であると提唱しています。

出所：各種資料をもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

\* 文中に登場する企業名等は情報提供のためのものであり、当社が特定の有価証券等の取得勧誘を行うものではありません。



BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

#### 【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2015年8月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。